

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.259・3月5日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me 編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5 発行部数:100,000部

第52回 日本学生科学賞 入選1等受賞!

グラウンドに生えるワカメの謎

科学の甲子園とも言われる「日本学生科学賞」で見事入選1等を獲得した甲賀市立甲南中学校科学部の皆さんが今回の素晴らしい人。身近な疑問だった「グラウンドに生えるワカメの謎」の解明に取り組み、3年がかりの研究が受賞につながった。



採取したイシクラゲを球体化別に分類

念願の全国入選1等受賞

日本学生科学賞は日本で最も伝統ある中学生・高校生のための科学自由研究コンテストである。

今年度は応募総数が過去最多の約8550点もあった。その中から22校が東京で開かれた中学校共同研究の部の中央審査へ進み、同校が見事1等に輝いた。

受賞した「グラウンドに生えるワカメ」の研究は3年がかりのもので、初年度の06(平成18)年は全国入選3等、07(平成19)年は県最優秀賞を受賞。そして今回、念願の入選1等に輝いた。同校の科学部の歴史は古く、これまで「甲南町における落雷の研究」で内閣総理大臣賞受賞、「手裏剣の軌跡の研究」などで入選している。

グラウンドにワカメが生える?



今回、研究テーマとなった「グラウンドに生えるワカメ」とはイシクラゲと呼

ばれるもので、グラウンドや空き地など、いろいろな場所で目にする事ができる。

「これは何?」そんな誰もがふと抱く身近な疑問から科学部の研究は始まった。1年目はイシクラゲの性質、2年目はその分布の状況について研究を進めた。「研究が進めば進むほど、新たな疑問が生まれてくるものです」と顧問の木田幹人先生。先輩から後輩へと、研究が受け継がれてきた。

謎の球体?

1年目と2年目の研究から、平たいイシクラゲを水に浸すと、球体が混ざることが分かってきた。しかし内部の正体は謎のままだった。そこで今回、3年目は球体が自然の状態でもできるのか、またその内部や理由が何なのかを調べることになった。まず、自然界における

球体化現象を調べるために、グラウンドで採取したイシクラゲを水で拡散させ、できた無数の断片を球体に近い順に分類した。その作業はとて細かく大変だった。

粘り強く観察方法を工夫した結果、球体は自然界でも存在し、水分保持のために内部に水を蓄えていることがわかってきた。

科学はエキサイティング

「まず、仮説を立て、次に実験方法を工夫し、最後に実験結果を分析して結論を導き出します。地味な作業ですが、生徒たちは自由な発想で科学を楽しんでいます」と木田先生。

昨年12月の中央審査会には科学部を代表して部長の幸崎涼君(2年生)、副部長の原翼君(2年生)と前部長の橋本昭平君(3年生)の3人が出席し、研究の成果を発表した。

表彰式には秋篠宮両殿下をはじめ、宇



中央審査会に出席した(左から)原君、橋本君、幸崎君

宙飛行士の毛利衛さんも列席され、彼らにとって思い出深い一日となった。

「とても緊張しました。でも感激しました。来年も引き続きイシクラゲを研究し、今年以上の賞をめざします」と部長の幸崎君。

「科学の魅力は?」と、最後に皆さんに質問すると「わかることが楽しい」と、笑顔で返事が返ってきた。今後の活躍を期待したい。(取材・福本)

詳しくは www.gaido.jp/2591

甲賀市立 甲南中学校

●甲賀市甲南町寺庄841
●TEL:0748-86-2154



素敵 甲南中学校
な人 科学部の皆さん(甲賀市)

滋賀生活情報紙[Oh!Me]はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読お申し込みは **0120-468-012**

ユニークな製品で多彩なイベント エア造形物の提案



クラッシュコース



ディノスライダー



キャンディーファクトリー

Balloon & Event
KINKI AD

株式会社 近畿アド
〒520-0822 滋賀県大津市秋葉台13-11
TEL 077 (537) 8880 FAX 077 (537) 8881

<http://www.kinkiad.com>